

平成25年度 決算状況報告 一般会計

平成25年度一般会計の決算額は、収入277億2,005万円、支出265億3,107万円でした。そのうち平成26年度へ事業を繰り越して使う資金を差し引いた実質収支は、10億1,006万円の黒字決算となりました。財政調整基金への積立てや市債残高の削減を着実にやったことで、各財政指標も改善した結果となりました。

平成27年度以降に普通交付税が段階的に縮小することから、将来の財源不足に備え、今後も健全財政に努めていきます。

図財政課 ☎50-3033

市民一人当たりに使った
お金の換算すると・・・

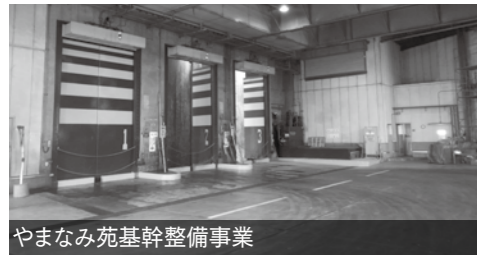
(※ 25年度末住民基本台帳 人口 50,061 人で算出)

52万9,970円



「GENKI応援振興券」発行事業

▲商工費 2億2,200万円
プレミアム付振興券を2万セット(1枚千円×11枚綴=1セット)発行、販売しました



やまなみ苑基幹整備事業

▲衛生費 5億9,074万円
ごみ焼却施設統合のため、やまなみ苑の基幹整備工事を実施。処理能力は98t/日から135t/日に向上しました



屋外拡声装置増設事業

▲消防費 3,730万円
津波警報や避難勧告などの緊急情報を迅速かつ的確に伝達するために屋外拡声装置を増設(11基)しました

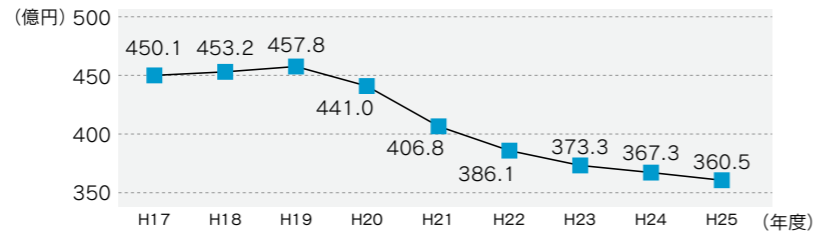


沼島地域おこし協力隊推進事業

▲総務費 985万円
地域おこし協力隊員3人を新たに任用(計5人)し、沼島地区の地域活性化事業等を推進しました

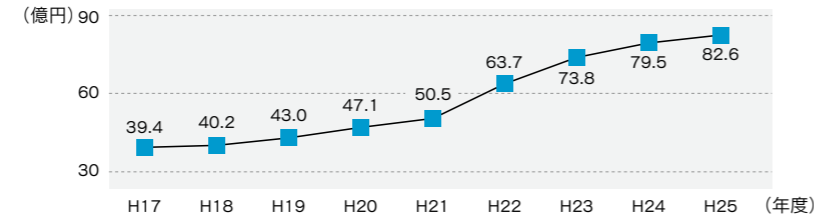
市債(借金)残高の状況

	25年度末	市民1人当たり
一般会計市債残高	360億5,100万円	72万100円



基金(貯金)残高の状況

	25年度末	市民1人当たり
一般会計基金残高	82億6,387万円	16万5,000円



市税の収入状況

区分	収入額	市民1人当たり
市民税	21億7,984万円	4万3,500円
固定資産税	30億254万円	6万円
軽自動車税	1億6,757万円	3,300円
市たばこ税	3億8,382万円	7,700円
入湯税	4,390万円	900円
合計	57億7,767万円	11万5,400円

この決算状況を「月収30万円の家計」に例えると・・・

収入		支出	
給与	30万円 (+9,700円)	食費 (人件費)	6万1,100円 (-1,500円)
うち基本給 (市税など)	25万5,300円 (+6,700円)	医療費 (扶助費)	5万1,200円 (+1,500円)
諸手当 (特別地方交付税、使用料など)	4万4,700円 (+3,000円)	ローンの返済 (公債費)	7万6,400円 (+7,700円)
前月からの繰越金 (繰越金)	1万2,500円 (-5,800円)	光熱水費や通信費など (物件費)	5万円 (+6,100円)
親からの援助 (国・県支出金)	6万3,700円 (-1,800円)	家・車・電化製品の修理や買換 (維持補修費、普通建設事業費)	5万5,900円 (-1万6,200円)
銀行からの借入 (市債)	5万6,500円 (+7,200円)	交際費・子どもへの仕送り (補助費、繰出金など)	11万4,200円 (+9,200円)
貯金の取り崩し (基金繰入金)	8,900円 (+1,400円)	貯金 (積立金)	1万3,900円 (-2,700円)
計	44万1,600円 (+1万7,000円)	計	42万2,700円 (+4,100円)

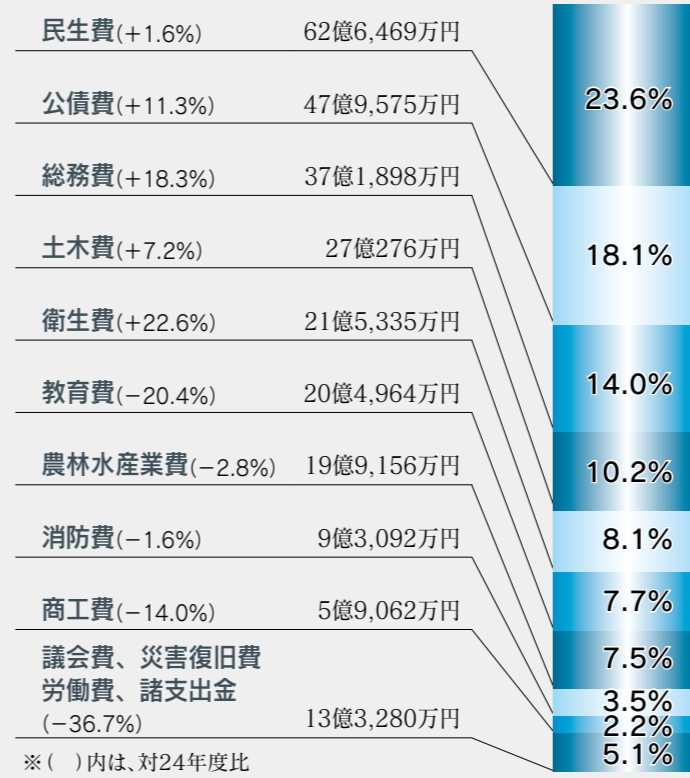
毎月の出費が約42万円。月収30万円では足りません。不足分(約12万円)を親からの援助や銀行からの借入、貯金の取り崩しでまかなっています。

来月への繰越金
1万8,900円(+6,600円)

南あわじ市 44・6% (これが多いと一般家庭のエンゲル係数が高いこと) (同じで、家計にあまり余裕がないという意味です。)

支出 265億3,107万円

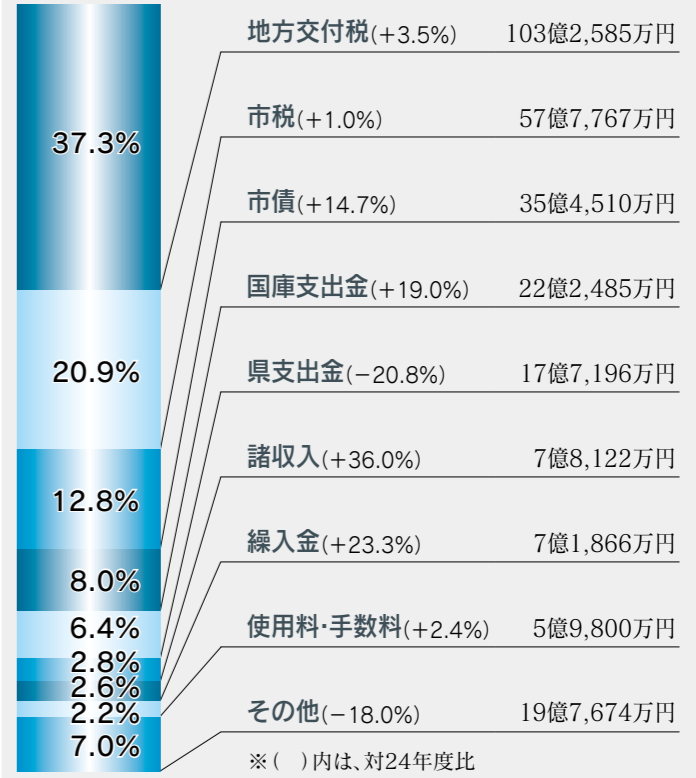
(24年度比+1.0%)



※()内は、対24年度比

収入 277億2,005万円

(24年度比+2.5%)



※()内は、対24年度比

健全化判断比率(速報)

指標	南あわじ市		(単位:%)	
	25年度	24年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 (普通会計の赤字から財政運営の深刻度を見る比率)	-	-	12.65	20.00
連結実質赤字比率 (全ての会計の赤字から財政運営の深刻度を見る比率)	-	-	17.65	30.00
実質公債費比率 (借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度を見る比率)	14.3	14.9	25.0	35.0
将来負担比率 (市が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度を見る比率)	134.0	149.4	350.0	-

※赤字が生じない場合は、「-」と表示

資金不足比率(速報)

指標	南あわじ市		(単位:%)	
	25年度	24年度	経営健全化基準	備考
資金不足比率 (企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度を見る比率)	-	-	20.0	会計ごとに算定

※資金不足が生じない場合は、「-」と表示

25年度の収入は、本市収入の約37%を占める地方交付税の増加や諸収入(ENKI応援振興券)販売収入などの増加などにより、昨年度に比べ2.5%のプラスとなりました。

支出面では、新庁舎建設事業や若人の広場公園整備事業、沼島総合センター改修事業、食の拠点施設整備推進事業、大学誘致推進事業などに取り組みました。また、安全で安心なまちづくりのため、屋外拡声装置の増設や津波対策

事業として避難路にカラー塗装の整備、太陽光発電式照明の設置などを行いました。

そのほか、市内の商工業振興と市民の購買意欲を高めるための「ENKI応援振興券」の発行業務、橋梁の老朽化対策として長寿命化事業などを実施しました。

市債において、発行は増加しましたが、定時償還に加え6億4,511万円の繰上償還を実施したことで、市債残高は前年度より6億7,679万円減少しています。